

長期	中期目標	短期目標	具体目標	担当	評価方法及び評価基準	達成状況	評価	改善策
思いやる子	相手を思いやり、川棚を愛する子	特別支援教育の充実 (児童の姿)	・お互いのことをよく知り、認め合う	生活 相談	アンケート	「とてもなかよしの友達がいる」子は、90%いるが、「いじめられたことがある」子は、18%いる。誰とも仲良くできる子は以前に比べて少なくなっているのかもしれない。	B	縦割り活動の中で、だれでも楽しめる、満足できる活動を、高学年を中心に進めていく。縦割り遊びのふりかえりのポイントを設定してはどうだろうか。
		規範意識の向上 (児童の姿)	・気持ちのよいあいさつをする	生活 相談	アンケート	アンケート結果は、子どもたちが自分の姿を自覚した評価になっていると思う。生活委員会のあいさつチャンピオンの放送が励みになっている。	B	運営委員会で話し合った掲示物を教室横の廊下壁面に掲示したり、放送したりして意識化を図る。委員会の子どもの朝のあいさつ運動の活性化。
		体験活動の充実(交流) (児童の姿)	・様々な体験を通して、地域の人や異学年の人と、思いやりをもって交流している。	特別 活動	観察	・最上級生が縦割り活動を楽しみにし、準備を張り切って行ってくれたため、縦割り活動がスムーズに進められた。また、縦割りが無い日でも、下級生と交流する機会が多かった。掃除でも上級生としての自覚が出て無言清掃などの意識が高まった。	A	・2学期は川小まつりがあるが、今年度も地域の方に文化的な活動を紹介してもらおう企画したい。たてわり活動を生かして、文化的な作品を共同で作る機会を持ちたい。(丸太アート)
		特別活動の充実 (児童の姿)	・集会等の企画・運営に進んで取り組み、楽しく参加している。	特別 活動	観察	・音楽集会はまだ1回しか実施していないが、歌声の響くいい集会だった。2学期以降、ミュージッククラブの活躍を期待したい。代表委員会は学級代表が積極的に意見を述べていて、意見の集約が見られた。	A	・集会委員会の受け持つ集会を使って、普段表に出ないよう委員会の紹介や活動をしてはどうか。(司会は集委で)
進んで学ぶ子	確かな学力を身に付けた子	基礎基本の定着 (児童の姿)	・標準学力調査の基礎問題において、全国平均正答率以上を目指す。 ・学期末まとめテストで8割以上を目指す。	教務 研修	テスト結果 先生方へのアンケート	・全国標準に近い数値だったが、実感としては厳しい感じがある。 ・国語の基本的な事項、算数では数量関係での落ち込みが見られた。 ・問題をしっかりと読んでいない、読めていない。初見の文章を読み取るのが苦手。	B	・結果をきちんと分析して、スキルタイム等で各学年に応じた補充学習をしていく。
		思考力・判断力・表現力の育成 (児童の姿)	・標準学力調査の活用問題において、全国平均正答率以上を目指す。 ・学期末まとめテストで8割以上を目指す。	教務 研修	テスト結果 先生方へのアンケート	・1年生は何をするのも初めてだったので、いろいろなことを体験させて学習を進めていった。 ・文章構成をつかむことが難しいと感じていることが多い。型があれば書くことはできた。	B	・学習をパターン化していく。 ・型がないときにも、わかりやすく伝える、書くことができるように訓練していく。
		タブレット・ICTの活用 (児童の姿)	・学年に応じたタブレットの操作ができる。	教務 研修	先生方へのアンケート 児童へのアンケート	・1年生でもタブレットを使った。子どもたちは喜んで使っていた。 ・ジャストスマイルのカード機能は使いやすかった。	B	・今後も時間を見つけて、活用していく。
		読書の推進 (児童の姿)	・年間100冊以上の本を読む。	教務 研修	読書記録カード	・低学年ですでに70冊以上読んだ子がいた。 ・足しげく通っている子が多いが、借りる子と借りない子の差が大きかった。 ・6年生は運動会までは、ゆっくり図書室を利用することができなかったが、その後は歴史マンガを中心に借りている。	B	・家庭での取組も弱いので、100選も活用しながら啓発していく。
		家庭学習の習慣化 (児童の姿)	・家庭学習に毎日取り組む。(時間の目安「学年×10分+10分」例:3年生は40分)	教務 研修	チェックカード(記録カード)の導入	・低学年は自学まではしてはいないが、多くの子どもたちが頑張っている。 ・高学年は取組に対する個人差が大きい。	B	・1・2年生は、自学よりもきちんと継続して取り組むことを中心に指導していく。 ・学地域連部と相談しながら、チェックカード・強化週間みたいなものに取り組む。
やりぬく子	体力づくりに努め、最後までやりぬく子	体力の向上 (児童の姿)	・体育の授業に積極的に取り組む。	保健 安全 体育	共有した学習カード(校務→教科→体育→体育学習カード)を使用し、意識の変容のアンケートをとる。(5月と2月)	学習カードの整理がまだできていない。アンケートは、スポーツテストの際に実施済み。	B	学習カードは夏休み中に回収・整理を行う。
			柔軟性を高める。		授業の最初のジャックナイフストレッチを継続し、10月に柔軟性を調べる。	授業の際、準備運動でジャックナイフストレッチを取り入れ行っている。	B	長座体前屈の結果を分析し、授業改善につなげる。
		清潔で安全な学校づくり (児童の姿)	無言掃除に取り組む。	保健 体育	掃除後にだいすきを活用し、反省会を行う。	掃除の最初にめあてを言わせたり、反省会を行い、だいすきの意識は高まっているが、無言の徹底はできていない。	B	自分の役割を自覚させ、取り組んだ先に無言があるという共通理解のもと指導にあたる。
		健康教育の推進【児童の意識改革】 (児童の姿)	・病気に負けない生活習慣を身につける。 ・食事のマナーを身につける。	保健 安全 体育	うがい、手洗い、マスク、ハンカチ、ティッシュ、つめなどのチェックをする。	ハンカチ、ティッシュ、マスク、つめのチェックは朝の会や給食の準備のときに行っているが、うがいの声かけがほとんどできていない。 栄養教諭が給食指導や学校保健委員会の際に声かけを行った。マナーについての掲示を行い、指導を行っている学級もある。	B	2学期は、手洗い、うがいの声かけを行っていく。 マナーに焦点を絞った指導を続けていく。
信頼される学校	指導力を高め、家庭・地域と連携し開かれた学校を	教職員の資質の向上 (教師・学校の姿)	楽しく分かる授業に努めている。	教頭	アンケート調査	・スキルタイムにおいて、プリント集等を活用して計画的に進められている。 ・デジタル教科書やタブレットでのまとめなど、ICTを有効に活用している。	B	・学習意欲を引き出す工夫等、担任間での情報交換を積極的に行う。 ・タブレットの不具合等で、困ることもあるが、可能な限り有効活用をしていく。
		家庭・地域との連携 (教師・学校の姿)	電話や来校時の教職員の対応は適切である。	教頭	アンケート調査	・電話を受けた際に、「学校名」「自分の名前」等を、きちんと言って対応できている。 ・来客への対応が迅速・丁寧である。	B	・明るく、丁寧な対応が、学校の印象を良くすることを再確認する。 ・来校者への挨拶について、児童への指導を継続する。
		組織力の強化 (教師・学校の姿)	PTA活動に協力的である。	教頭	アンケート調査	・学級や学年PTAレクや球技大会などPTA行事への積極的な参加がなされている。	B	・PTA活動への参加や協力が、保護者や地域との信頼関係につながっていることを再確認する。
		施設・設備等学校環境の整備	安全点検結果に基づく対応策の協議により、早急に改善または改善の目処をつけることで校内施設設備の不備による事故を未然に防ぐ。	事務	安全点検における各場所担当者による改善状況評価	点検結果に基づき、不備箇所の確認及び改善の対応が早急に行われている。	A	予算が限られているため、多くの費用がかかるものについては学校単独での対応が難しい。特に危険度が高いものは町教委と協議をしていく必要がある。